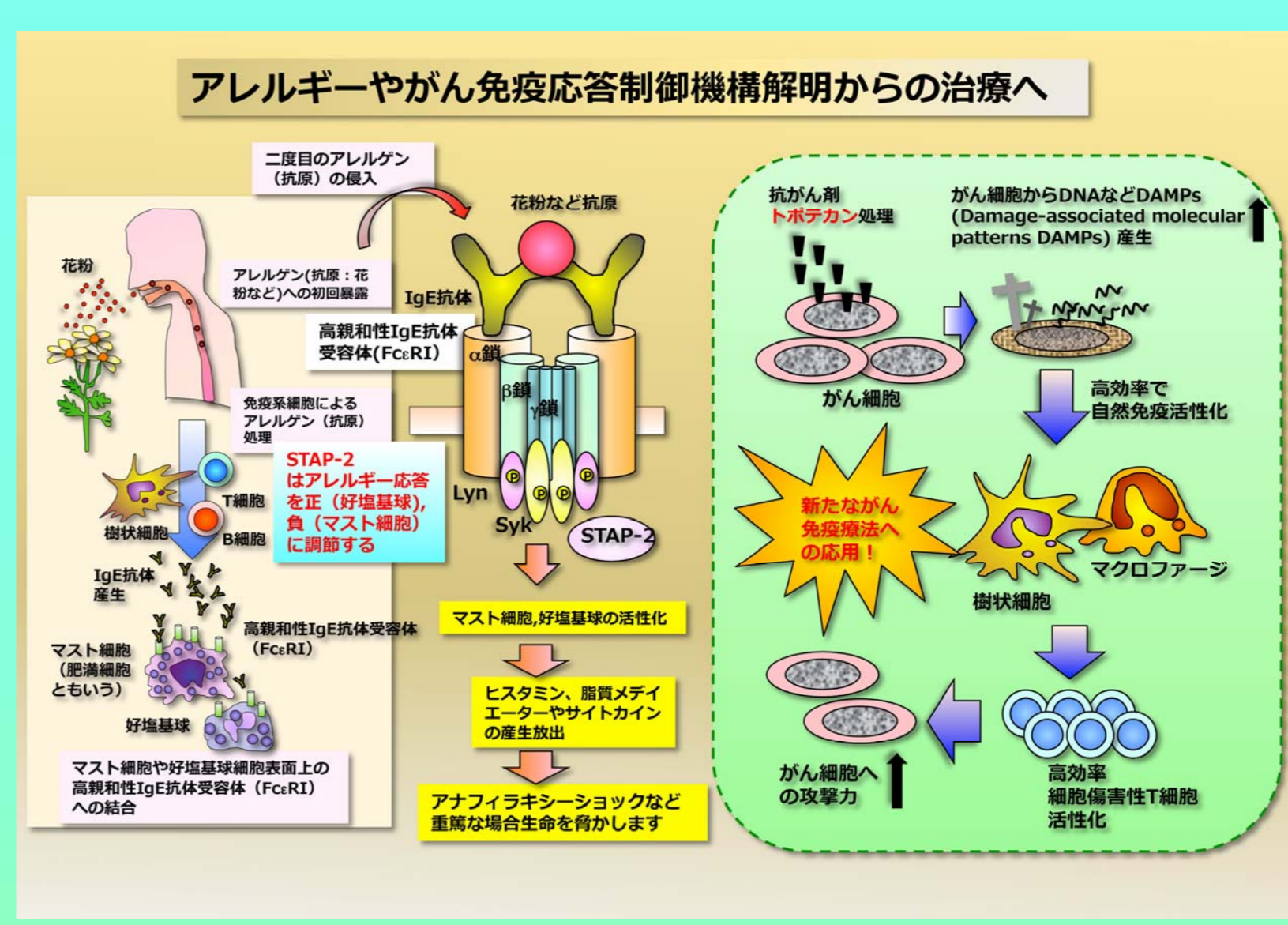
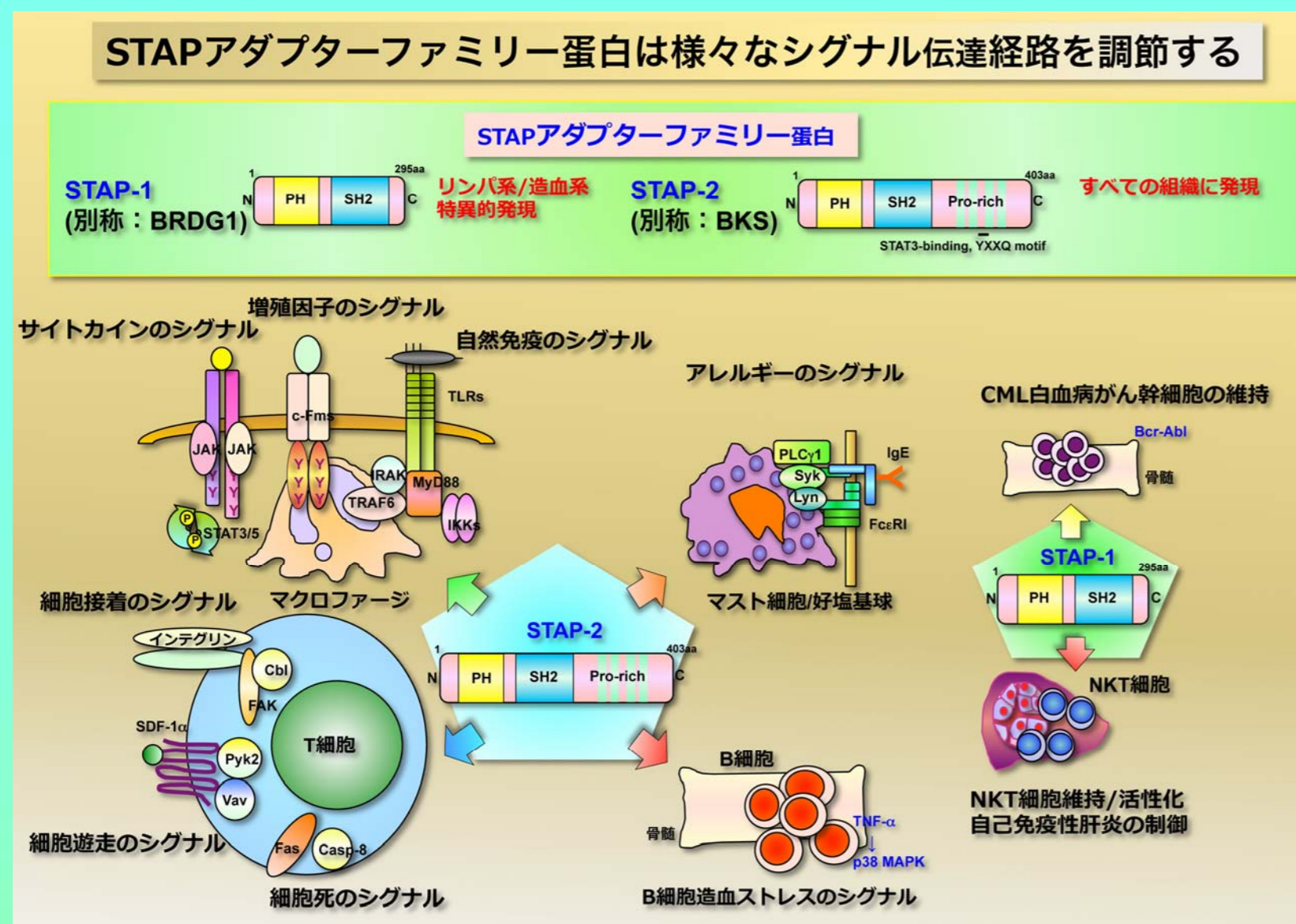
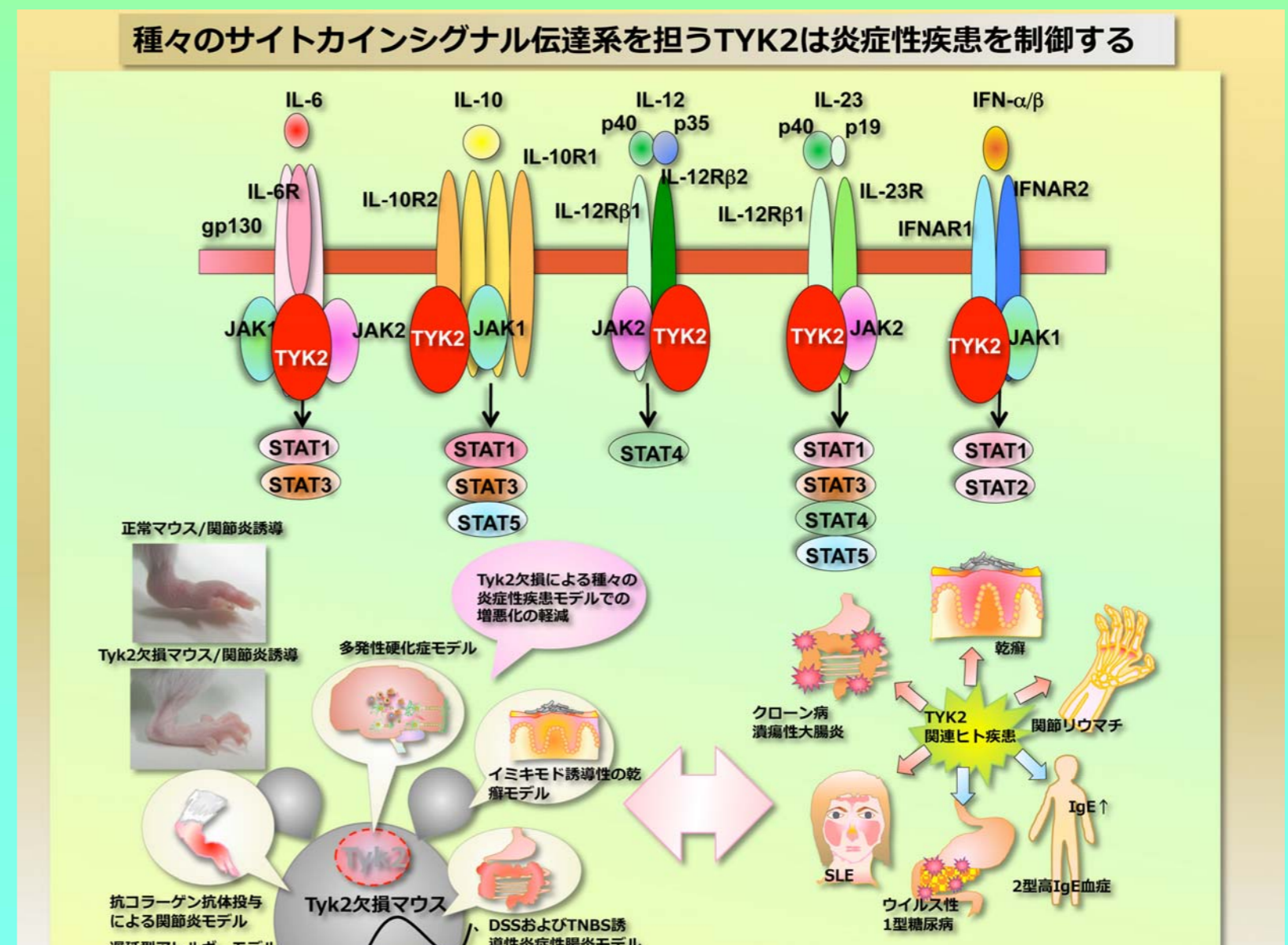
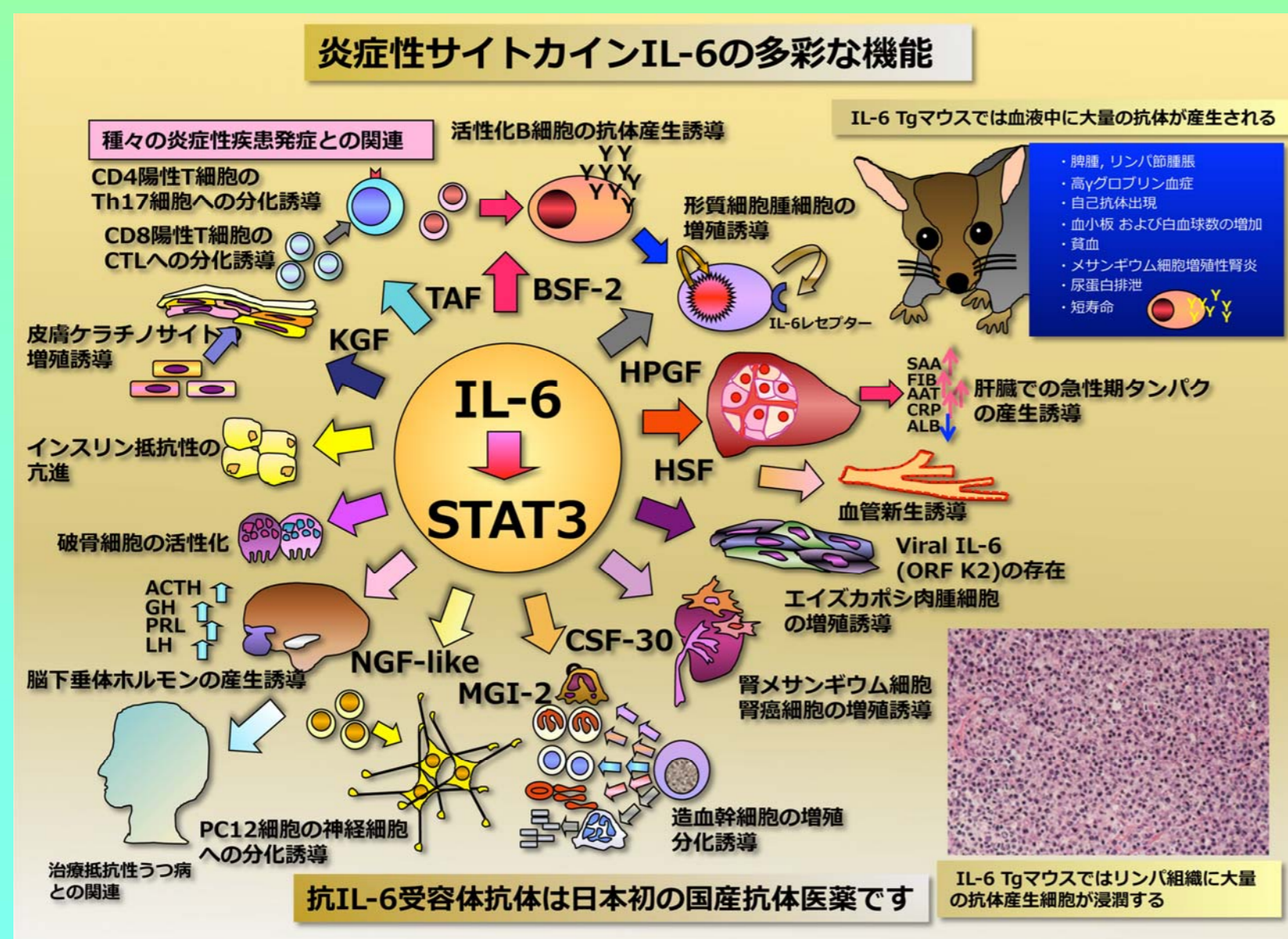


免疫・がん・シグナル伝達から疾患制御へ向けて

Understanding of signal transduction mechanisms involved in cancer and immune responses

研究課題

1. 免疫系サイトカインシグナルと疾患制御機構の解明
2. 免疫系アダプター分子群とがん・免疫制御機構の解明
3. アレルギー制御機構解明と新規治療標的の探索
4. 新たながん・免疫シグナル伝達機構の解明と疾患治療への応用



私たちの身体が健康を保つためには身体を構成する細胞群が一定の秩序のなかで組織としての細胞社会を形成し、維持する必要があります。種々の細胞は細胞外からの様々な情報伝達因子により、増殖分化を経て組織、器官での機能を担っています。特に重要な細胞間情報伝達因子として液性蛋白であるサイトカインがあります。サイトカインによる細胞間情報伝達のバランスは、生体の免疫系にみられる高次機能を形成し、維持するために非常に重要です。細胞間情報伝達のバランスの破綻はアレルギー疾患や自己免疫疾患、あるいはがんなどの疾患の発症につながります。私たちはこのような細胞間情報伝達因子のシグナル伝達系の制御機構を詳細に解析し、新たな創薬標的を発見し、病気の発症を人為的に制御することを目的として研究を進めています。